

付属資料・目次

特記仕様書（抜粋）

現場説明付記事項、案内図、構内配置図

屋階平面図、PH階平面図

北側立面図

南側立面図

東側立面図、西側立面図

断面図（１）

断面図（２）

部分詳細図（１）

部分詳細図（２）

部分詳細図（３）

特 1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1 0

京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 京都市左京区吉田下阿達町46-29（薬学部構内）

2. 完成期限 令和9年2月26日（金曜日）

3. 建物概要			
建 物 名 称	薬学研究科総合研究棟		
工 種	修繕		
構 造	S R C		
階 数	5－1		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	929	
	延べ面積 (㎡)	5,615	
消防法施行令別表第一の区分		(7)	
改 修 面 積 (㎡)		—	
備 考		—	

4. 工事種目（○印の付いたものが対象工事種目）			
工 事 種 目	建物別及び屋外	工 事 種 別	
	薬学研究科総合研究棟		
○ 2 仮設工事	一式		
○ 3 防水改修工事	一式		
○ 4 外壁改修工事	一式		
・ 5 建具改修工事			
・ 6 内装改修工事			
○ 7 塗装改修工事	一式		
・ 8 耐震改修工事			
・ 9 環境配慮改修工事			
・ プール改修工事			

5. 指定部分 ○無 ・有 対象部分（ ）
指定部分工期 令和 年 月 日（ 曜日）

6. 概成工期 ○無 ・有 令和 年 月 日（ 曜日） (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様
- (1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記第1の工事請負契約基準、現場説明書、図面_____枚及び本特記仕様書_____枚によるほか、
- 印の付いたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下「標準詳細図」という。)
- 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
- 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)
- 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(令和7年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
- 工事写真撮影要領(令和5年9月)

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工程に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

- (1) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の(())内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[[]]内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- 4) ☐印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月3日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

項 目

特 記 事 項

1

各章共通事項

○ 適用区分

- 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
- 風圧力
- 風速 (V0= 3 2 m/s)
- 地表面粗度区分 (・ I ・ II ○ III ・ IV)
- 積雪荷重
- 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (3 2)

(1.3.3~4) [1.3.3~4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者	・
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者	・
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

○ 施工条件

- (1.3.5) [1.3.5]
- この工事現場では、次の施工条件による。
- 建物を使用しながらの工事となるため、漏水対策及び出入口の使用に考慮した安全対策を講ずること
- 構内の行事等により作業が制限されることがあるので、監督職員と協議の上、工程を決定すること。
- 本工程建物周囲は研究棟や講義棟が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分に配慮すること。
- 工事用地および工事用地周辺においては適切な養生・清掃を行うこと。
- また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
- 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
- 穿孔工事等の騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
- その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。
- 工事車輛の通行は交通整理員を配置し安全対策を講ずること。
- 屋根・屋上に設置する足場について、既存防水層や屋根・壁面に設置された設備を損傷させないよう適切に養生等を行うこと。
- 既存防水層や屋根・壁面に設置された設備について、工事中も稼働できるようにすること。

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事

図面番号

図面名称

縮尺

設計日

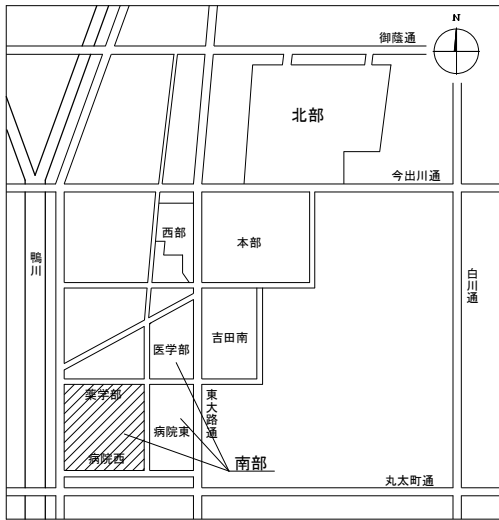
特記仕様書（抜粋）

令和8年8月

特 1

現場説明付記事項

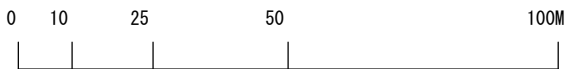
- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
 - 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
 - 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
 - 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
 - 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
 - 6) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
 - 7) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には原状に復帰して返還すること。
 - 8) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
 - 9) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
 - 10) 敷地内及び近隣では喫煙は行わないこと。
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 2) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 3) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 4) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 5) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
 - 6) パネルガードには電子書き回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



吉田地区キープラン

凡例

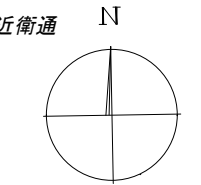
	本工事対象エリア
	工事用地（150㎡）
	別途工事
	フェンスバリケード（70m）
	足場設置範囲（枠組み足場 H＝建築物の高さまで L＝80m） 防音シート張り
	工事車両用進入経路
	交通整理員（大型車両通行時等適宜）
	工事用水道分岐位置
	建物使用者用出入口



薬学部構内他配置図 S=1/700

基幹・環境整備
（屋外排水設備）工事
R8年9月～R9年3月末（予定）

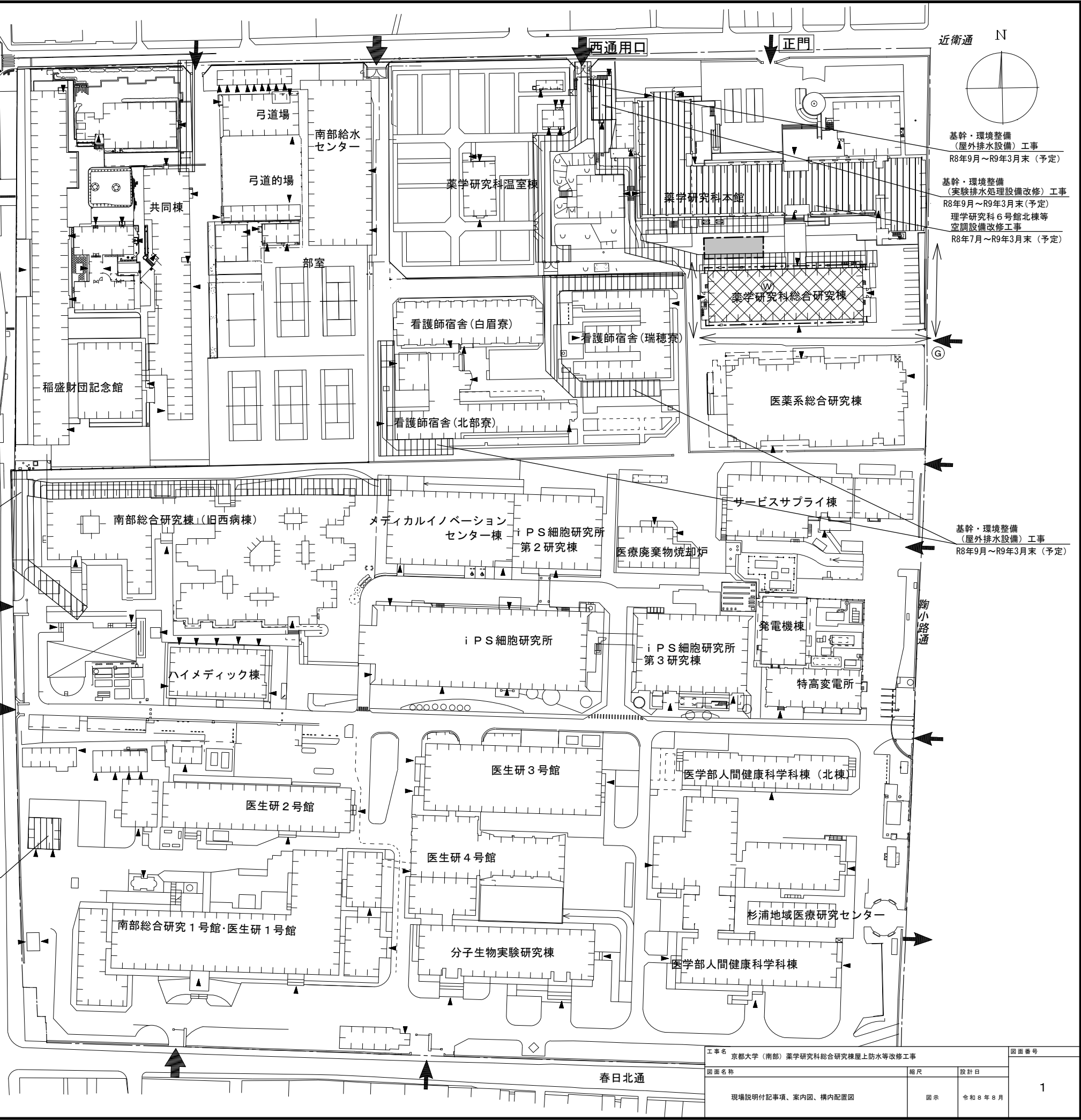
基幹・環境整備
（実験排水処理設備改修）工事
R8年9月～R9年3月末（予定）



基幹・環境整備
（屋外排水設備）工事
R8年9月～R9年3月末（予定）

基幹・環境整備
（実験排水処理設備改修）工事
R8年9月～R9年3月末（予定）
理学研究科 6号館北棟等
空調設備改修工事
R8年7月～R9年3月末（予定）

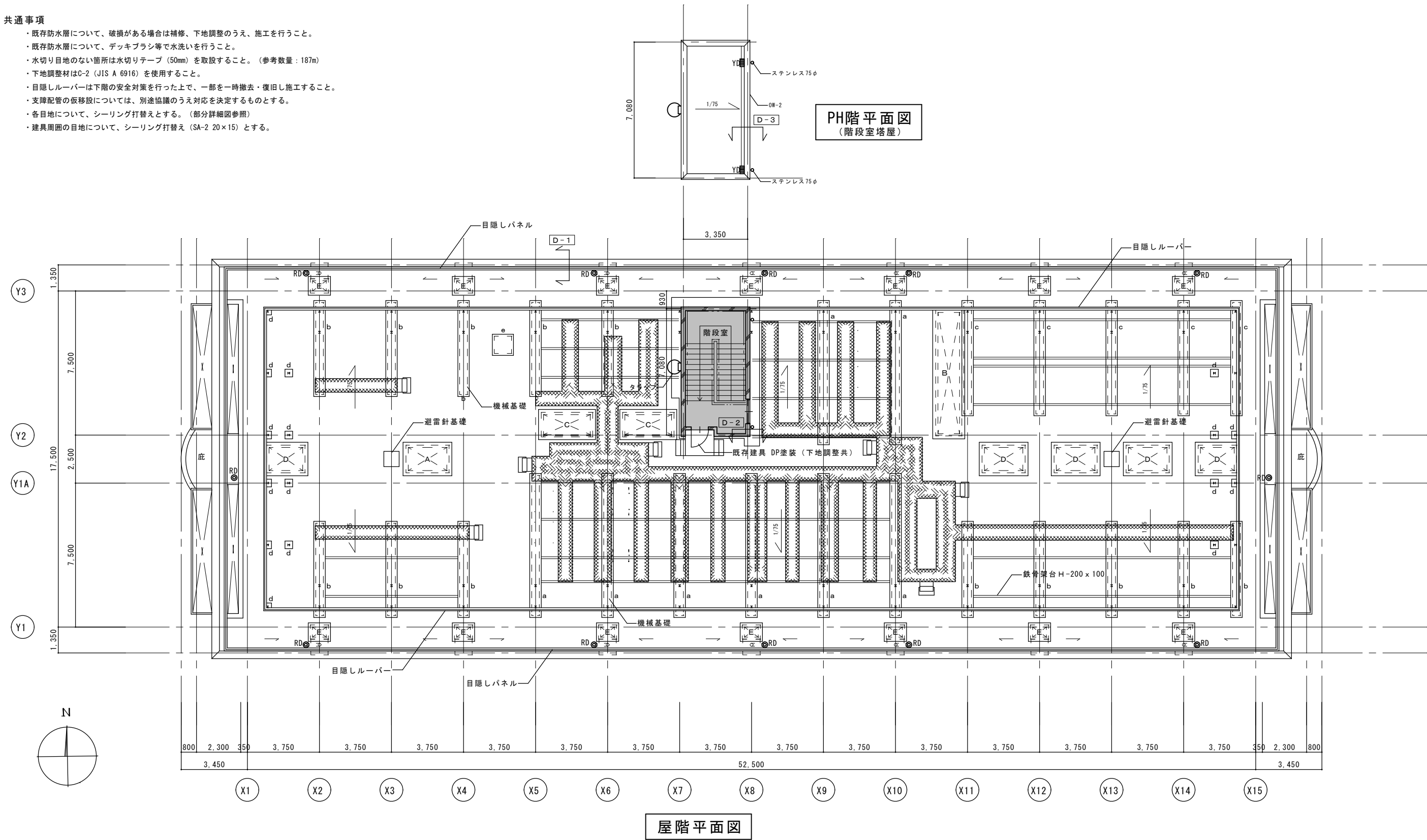
基幹・環境整備
（屋外排水設備）工事
R8年9月～R9年3月末（予定）



工事名	京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事	図面番号	
図面名称	現場説明付記事項、案内図、構内配置図	縮尺	
設計日	令和8年8月		
図示			1

共通事項

- ・既存防水層について、破損がある場合は補修、下地調整のうえ、施工を行うこと。
- ・既存防水層について、デッキブラシ等で水洗いを行うこと。
- ・水切り目地のない箇所は水切りテープ（50mm）を取設すること。（参考数量：187m）
- ・下地調整材はC-2（JIS A 6916）を使用すること。
- ・目隠しルーバーは下階の安全対策を行った上で、一部を一時撤去・復旧し施工すること。
- ・支障配管の仮移設については、別途協議のうえ対応を決定するものとする。
- ・各目地について、シーリング打替えとする。（部分詳細図参照）
- ・建具周囲の目地について、シーリング打替え（SA-2 20×15）とする。



凡 例

記 号	部 位	改 修 前	改 修 後	記 号	部 位	改 修 前	改 修 後
	平場	シート防水	既存シート防水を水洗いのうえ、ウレタン塗膜防水新設（高日射反射率塗装共）		天端・アゴ	塗膜防水	既存塗膜防水を水洗い、下地調整のうえ、ウレタン塗膜防水新設（高日射反射率塗装共）
	バラベツ	天端・アゴ	塗膜防水		立上り	シート防水	既存シート防水を水洗いのうえ、ウレタン塗膜防水新設（高日射反射率塗装共）
		立上り	シート防水		置き基礎（①～⑧） （部分詳細図（1）参照）	素地	水洗い、下地調整のうえ、ウレタン塗膜防水新設（高日射反射率塗装共）
	機械基礎 （a～e）	天端・アゴ	塗膜防水		ルーフドレン（縦型）		既存ドレン残置のうえ、改修ドレン新設（縦型 100φ SUS製防塵網共）
		立上り	シート防水		ルーフドレン（横型）		既存ドレン残置のうえ、改修ドレン新設（横型 75φ SUS製防塵網共）
	ハト小屋 （A～E）	天端・アゴ	塗膜防水		エキスパンドメタル		一時撤去（溶接部切断）のうえ、固定金具にて再取付（溶融亜鉛メッキ 110㎡）
		立上り	シート防水		塔屋外壁	複層塗材E	劣化部補修の上、防水型複層塗材E（高圧洗浄、下地調整共）

：工事範囲外

工事名	京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事		図面番号
図面名称	屋階平面図、PH階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年8月
			2



北側立面図

凡 例			
符号	改修前	改修後	施工数量調査
OW-1	せつ器質タイル貼（二丁掛平）	劣化部補修の上、浸透性防水材塗（高圧洗浄含む）	○
OW-2	複層塗材 E	劣化部補修の上、防水型複層塗材 E（高圧洗浄、下地調整共）	○
◀	伸縮、打継ぎ目地（シーリング）	シーリング打替え（SA-2 20×20）	

改修リスト	
改修内容	参考数量
浮き部：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（一般部）	20.0㎡
ひび割れ部：樹脂注入工法（エポキシ樹脂自動低圧注入 ひび割れ幅1.0mm超）	50.0m

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 3
図面名称 北側立面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年8月	

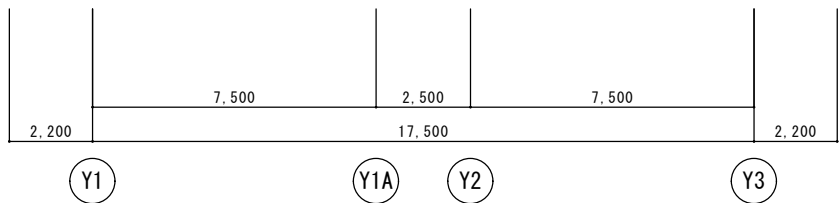
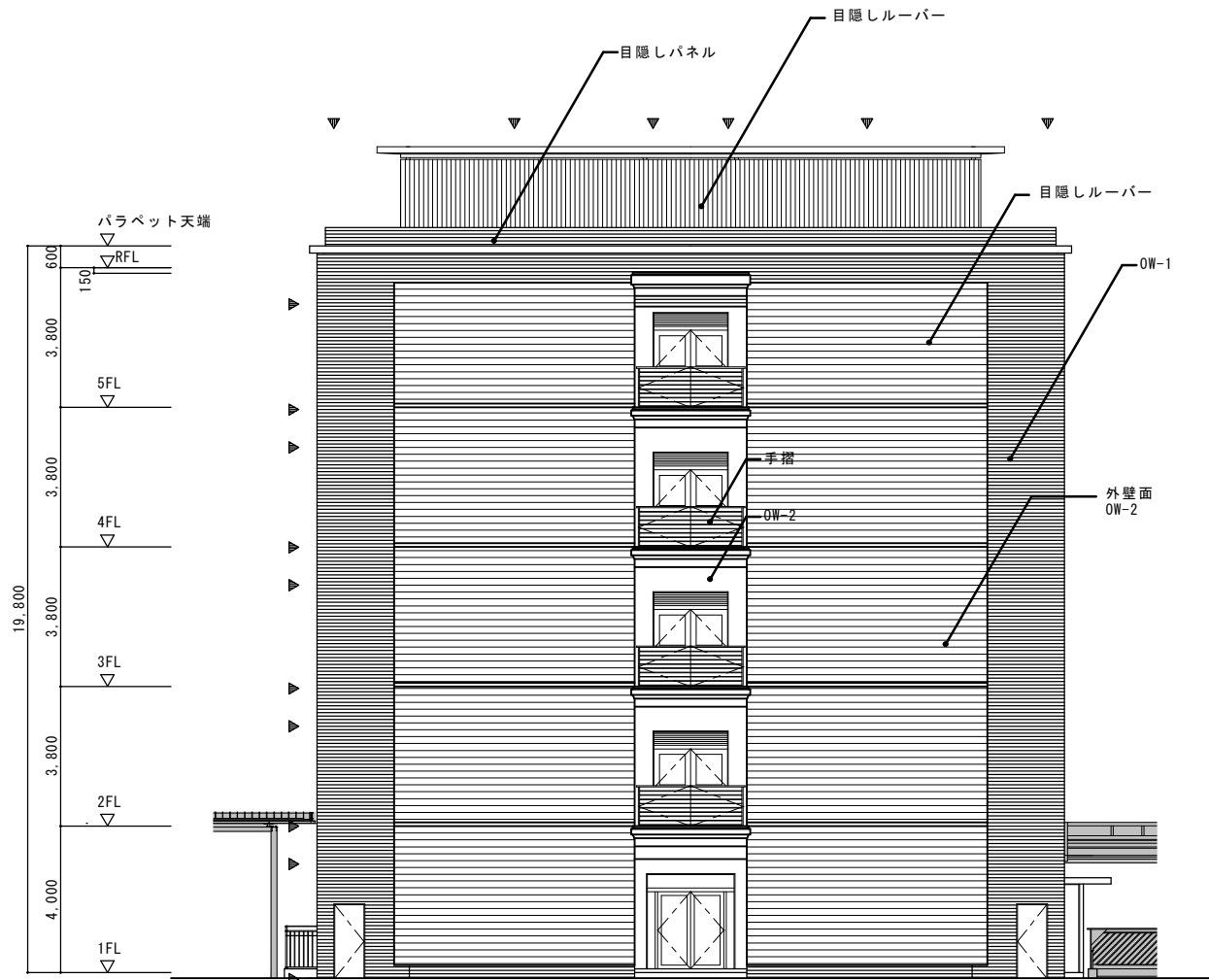


南側立面図

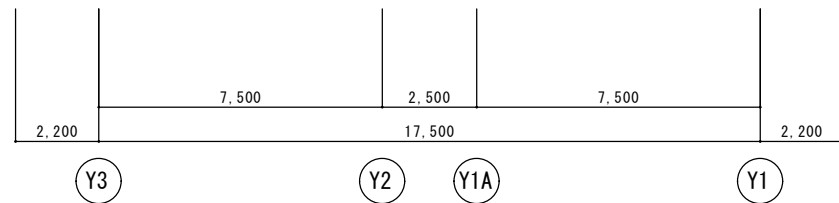
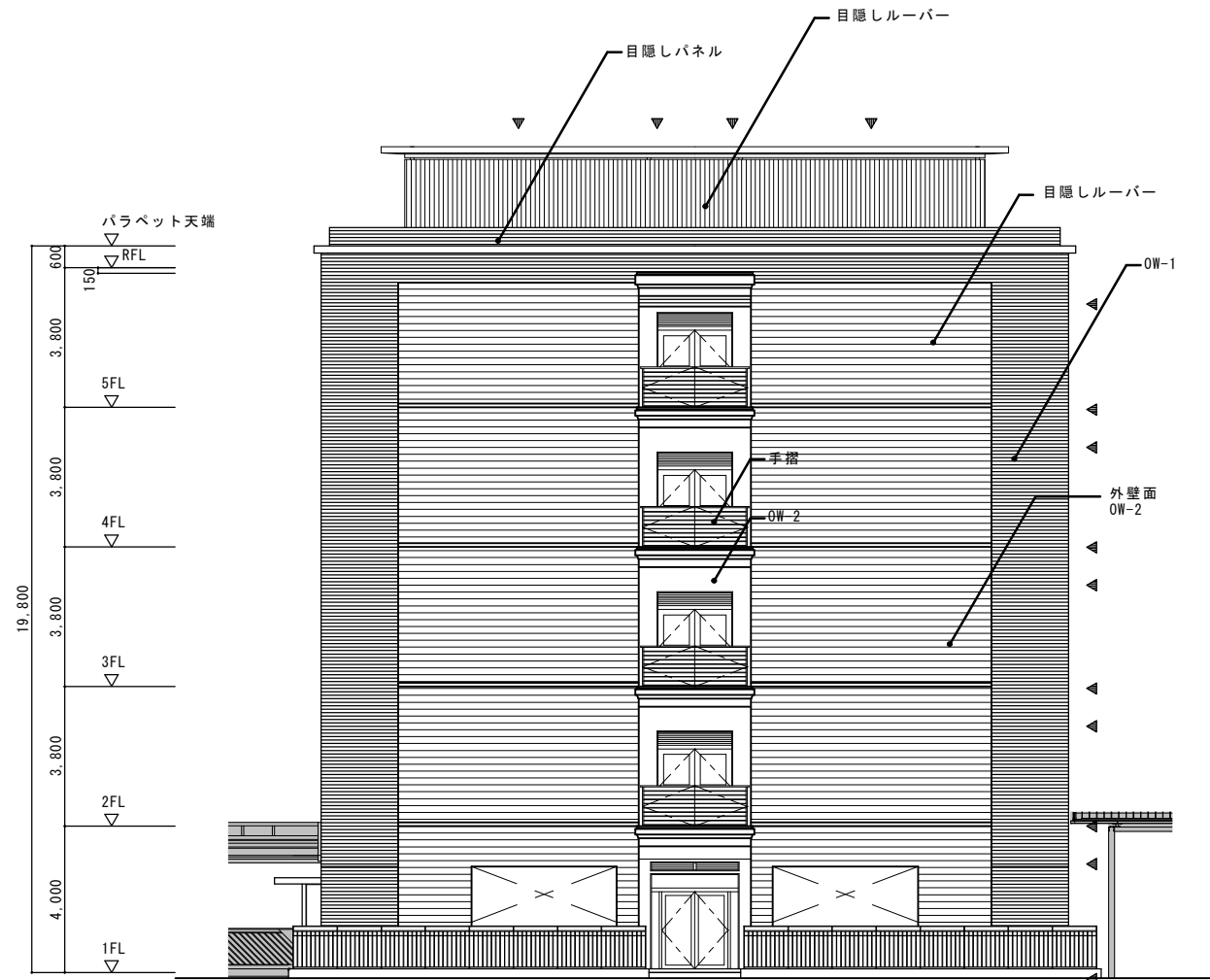
凡 例			
符号	改修前	改修後	施工数量調査
OW-1	せつ器質タイル貼（二丁掛平）	劣化部補修の上、浸透性防水材塗（高圧洗浄含む）	○
OW-2	複層塗材 E	劣化部補修の上、防水型複層塗材 E（高圧洗浄、下地調整共）	○
◀	伸縮、打継ぎ目地（シーリング）	シーリング打替え（SA-2 20×20）	

改修リスト	
改修内容	参考数量
浮き部：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（一般部）	20.0㎡
ひび割れ部：樹脂注入工法（エポキシ樹脂自動低圧注入 ひび割れ幅1.0mm超）	50.0m

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 4
図面名称 南側立面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年8月	



東側立面図



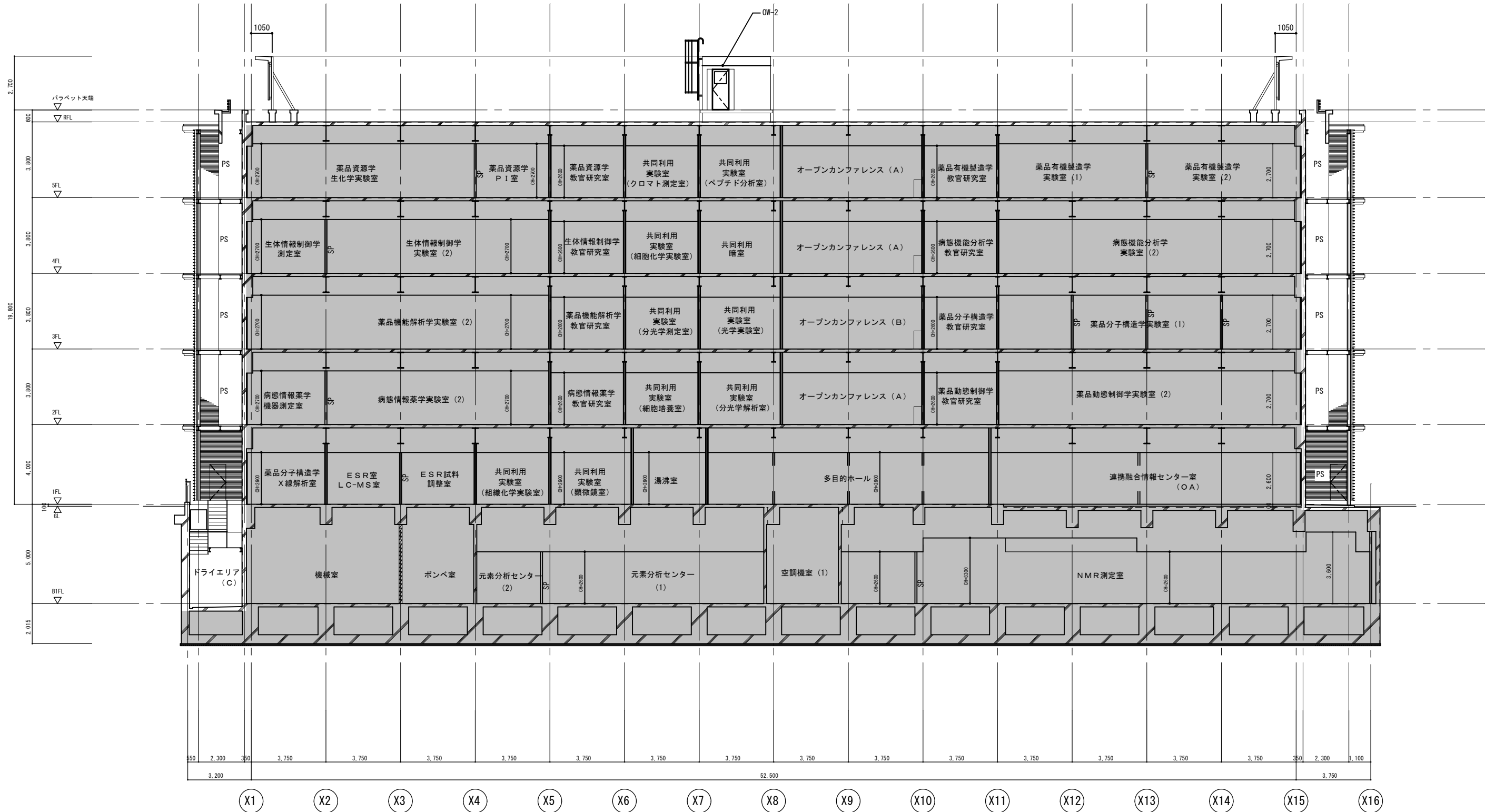
西側立面図

：工事範囲外

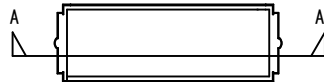
凡 例			
符号	改修前	改修後	施工数量調査
OW-1	せつ器質タイル貼（二丁掛平）	劣化部補修の上、浸透性防水材塗（高圧洗浄含む）	○
OW-2	複層塗材 E	劣化部補修の上、防水型複層塗材 E（高圧洗浄、下地調整共）	○
◀	伸縮、打継ぎ目地（シーリング）	シーリング打替え（SA-2 20×20）	

改修リスト	
改修内容	参考数量
浮き部：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（一般部）	20.0㎡
ひび割れ部：樹脂注入工法（エポキシ樹脂自動低圧注入 ひび割れ幅1.0mm超）	50.0m

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 5
図面名称 東側立面図、西側立面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	設計日 令和8年8月	



A-A断面図

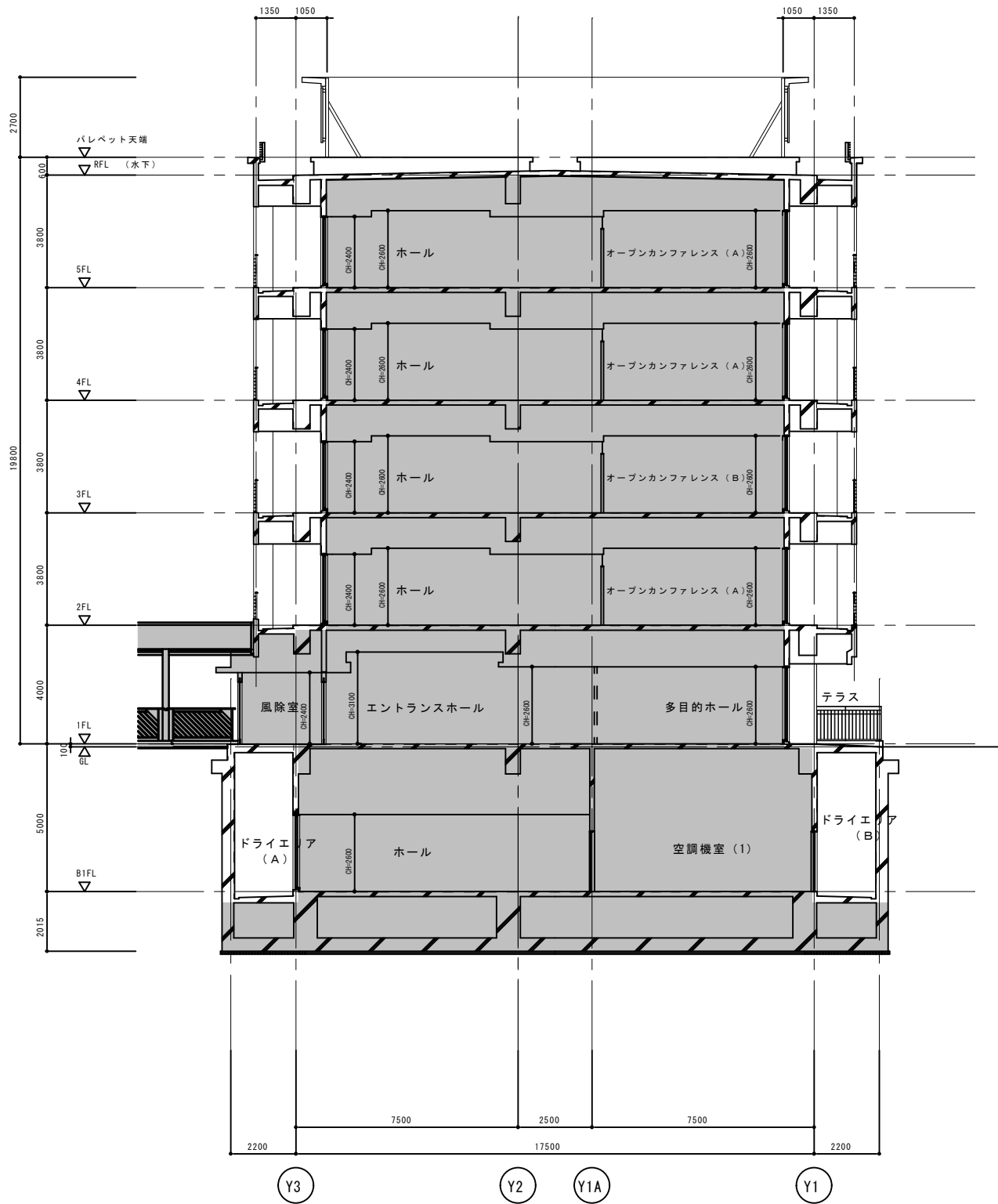


：工事範囲外

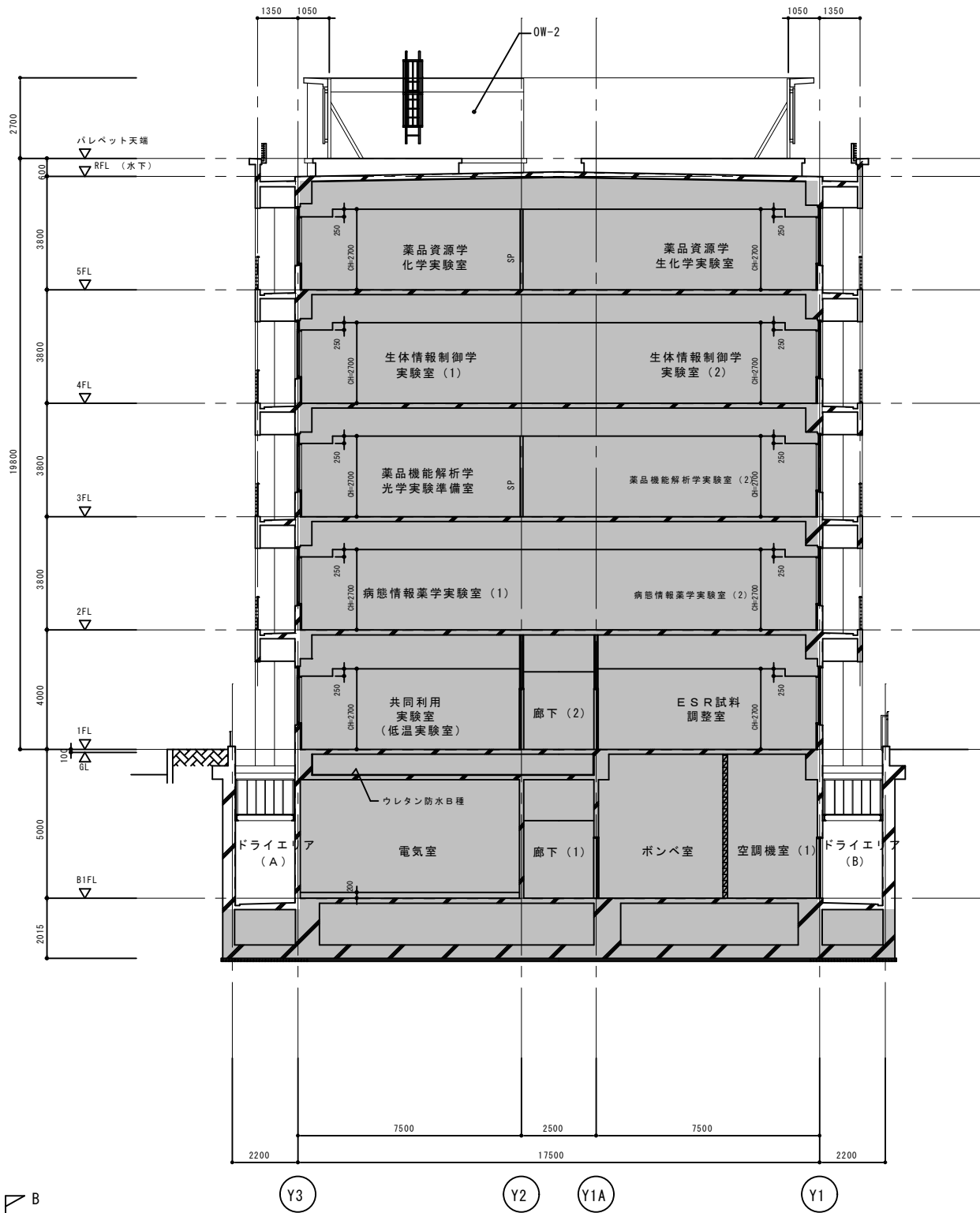
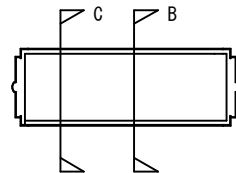
凡 例			
符号	改修前	改修後	施工数量調査
OW-1	せつ器質タイル貼（二丁掛平）	劣化部補修の上、浸透性防水材塗（高圧洗浄含む）	○
OW-2	複層塗材 E	劣化部補修の上、防水型複層塗材 E（高圧洗浄、下地調整共）	○
◀	伸縮、打継ぎ目地（シーリング）	シーリング打替え（SA-2 20×20）	

改修リスト	
改修内容	参考数量
浮き部：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（一般部）	20.0㎡
ひび割れ部：樹脂注入工法（エポキシ樹脂自動低圧注入 ひび割れ幅1.0mm超）	50.0m

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 6
図面名称 断面図（1）	縮尺 A1:1/100 A1:1/200	設計日 令和8年8月	



B-B断面図



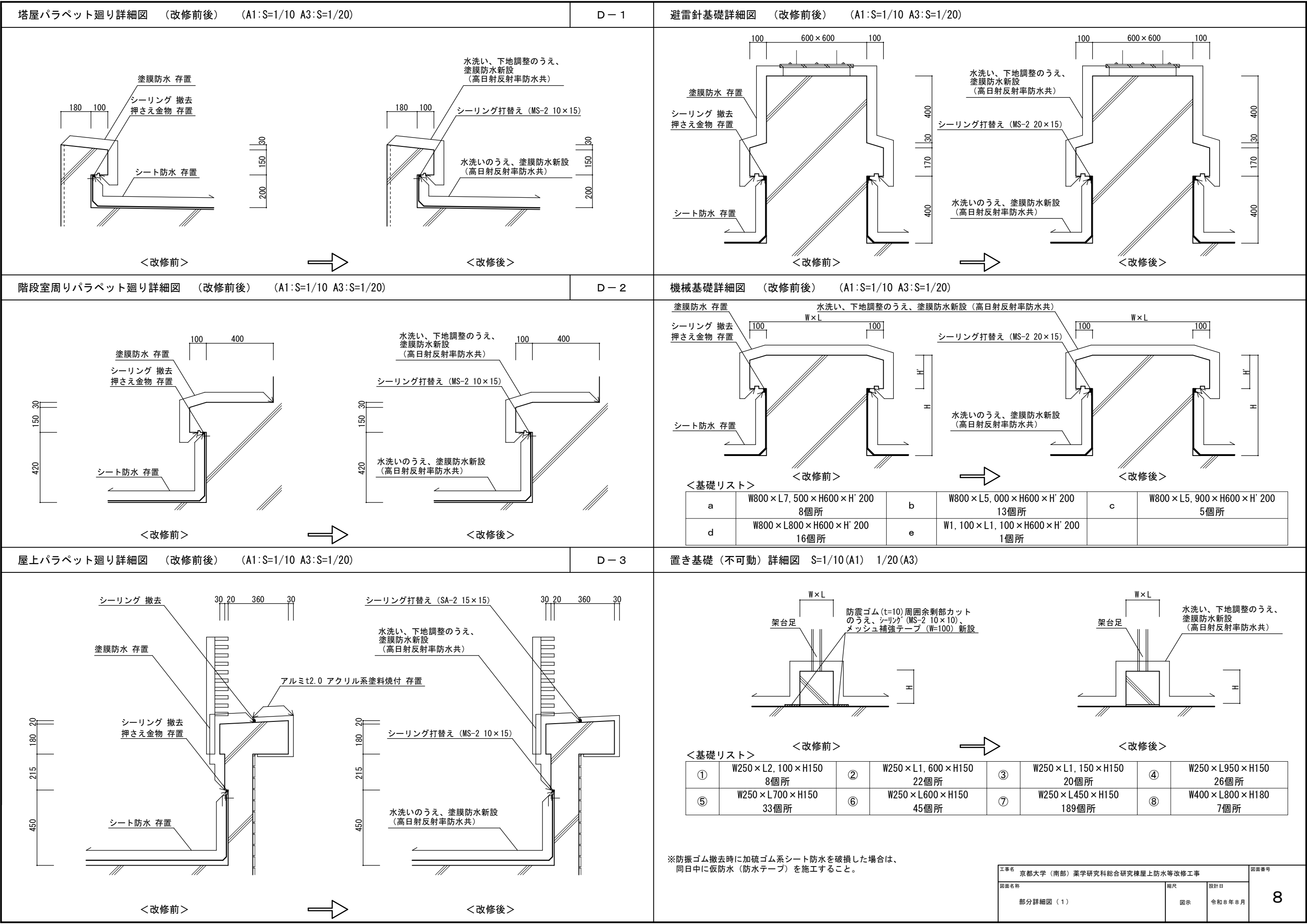
C-C断面図

：工事範囲外

凡 例			
符号	改修前	改修後	施工数量調査
OW-1	せつ器質タイル貼（二丁掛平）	劣化部補修の上、浸透性防水材塗（高圧洗浄含む）	○
OW-2	複層塗材 E	劣化部補修の上、防水型複層塗材 E（高圧洗浄、下地調整共）	○
◀	伸縮、打継ぎ目地（シーリング）	シーリング打替え（SA-2 20×20）	

改修リスト	
改修内容	参考数量
浮き部：注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法（一般部）	20.0㎡
ひび割れ部：樹脂注入工法（エポキシ樹脂自動低圧注入 ひび割れ幅1.0mm超）	50.0m

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 7
図面名称 断面図（2）	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	設計日 令和8年8月	



避雷針基礎詳細図（改修前後）（A1:S=1/10 A3:S=1/20）

塗膜防水 存置

シーリング 撤去
押さえ金物 存置

シート防水 存置

100600×600100

40030170400

<改修前>

水洗い、下地調整のうえ、
塗膜防水新設
（高日射反射率防水共）

シーリング打替え（MS-2 20×15）

水洗いのうえ、塗膜防水新設
（高日射反射率防水共）

100600×600100

40030170400

<改修後>

機械基礎詳細図（改修前後）（A1:S=1/10 A3:S=1/20）

塗膜防水 存置

シーリング 撤去
押さえ金物 存置

シート防水 存置

100W×L100

H'H

<改修前>

水洗い、下地調整のうえ、塗膜防水新設（高日射反射率防水共）

シーリング打替え（MS-2 20×15）

水洗いのうえ、塗膜防水新設
（高日射反射率防水共）

100W×L100

H'H

<改修後>

<基礎リスト>

a	W800×L7,500×H600×H'200 8箇所	b	W800×L5,000×H600×H'200 13箇所	c	W800×L5,900×H600×H'200 5箇所
d	W800×L800×H600×H'200 16箇所	e	W1,100×L1,100×H600×H'200 1箇所		

置き基礎（不可動）詳細図 S=1/10(A1) 1/20(A3)

架台足

防震ゴム(t=10)周囲余剰部カット
のうえ、シーリング（MS-2 10×10）、
メッシュ補強テープ（W=100）新設

W×L

H

<改修前>

水洗い、下地調整のうえ、
塗膜防水新設
（高日射反射率防水共）

W×L

H

<改修後>

<基礎リスト>

①	W250×L2,100×H150 8箇所	②	W250×L1,600×H150 22箇所	③	W250×L1,150×H150 20箇所	④	W250×L950×H150 26箇所
⑤	W250×L700×H150 33箇所	⑥	W250×L600×H150 45箇所	⑦	W250×L450×H150 189箇所	⑧	W400×L800×H180 7箇所

※防震ゴム撤去時に加硫ゴム系シート防水を破損した場合は、
同日中に仮防水（防水テープ）を施工すること。

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事

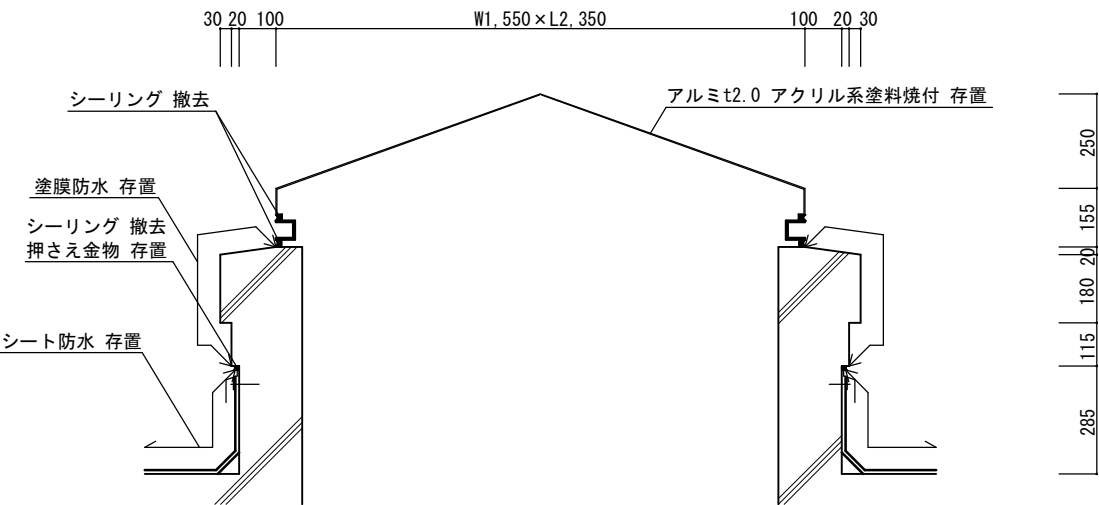
図面名称 部分詳細図（1）

縮尺 図示

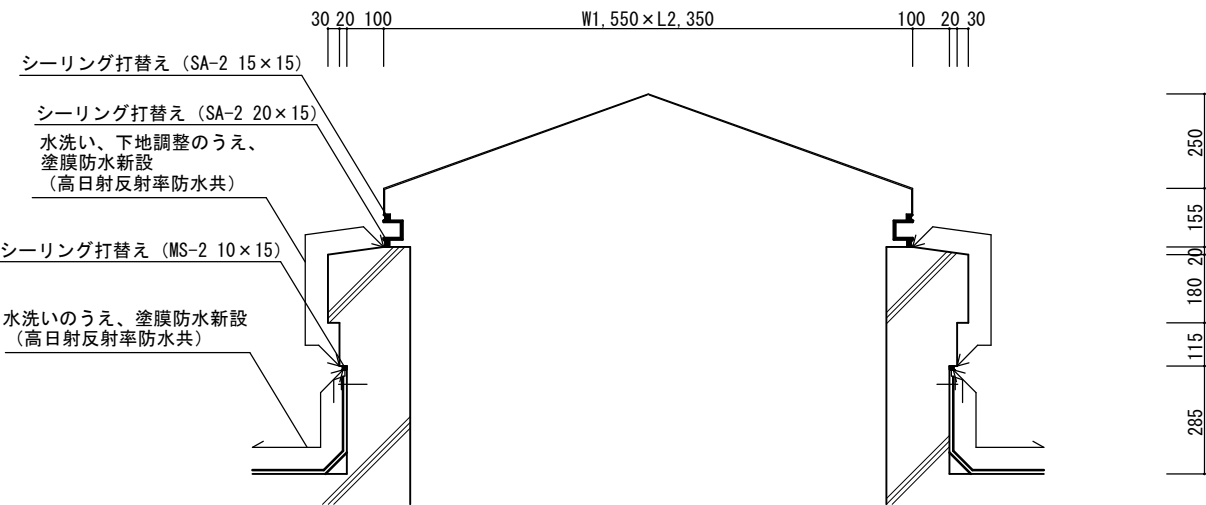
設計日 令和8年8月

図面番号 8

ハト小屋（A）詳細図（改修前後）（A1:S=1/10 A3:S=1/20）

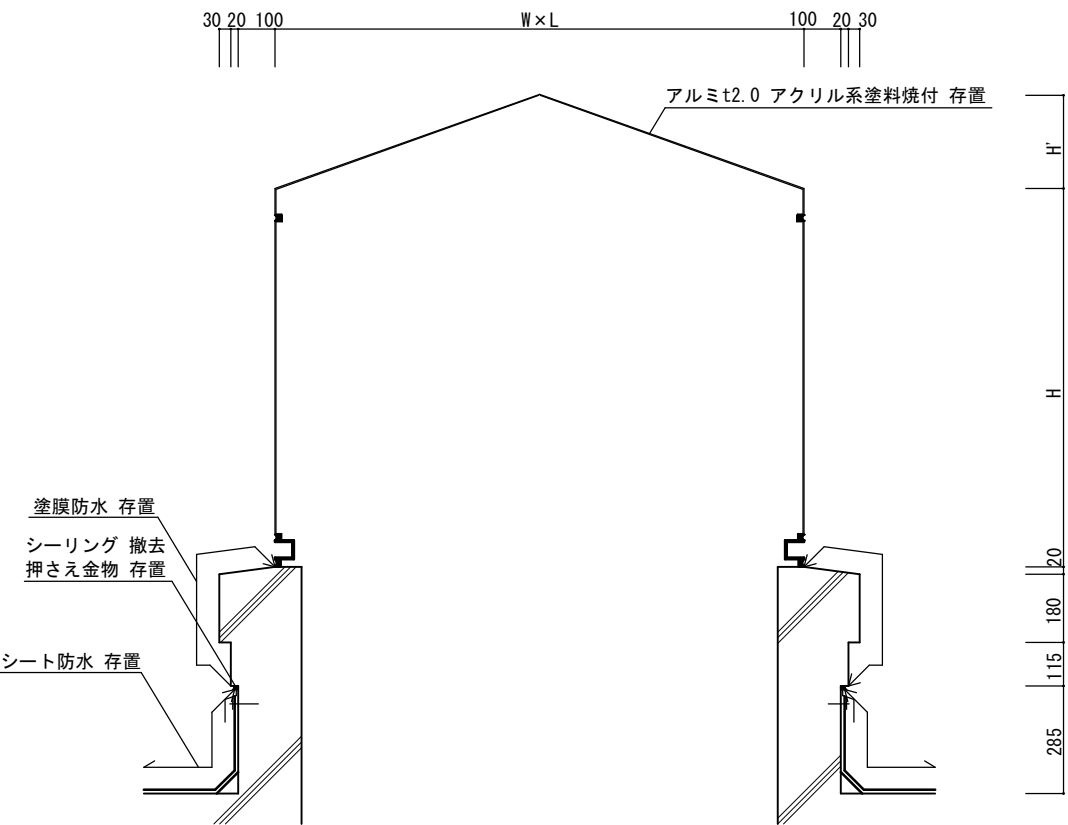


<改修前>

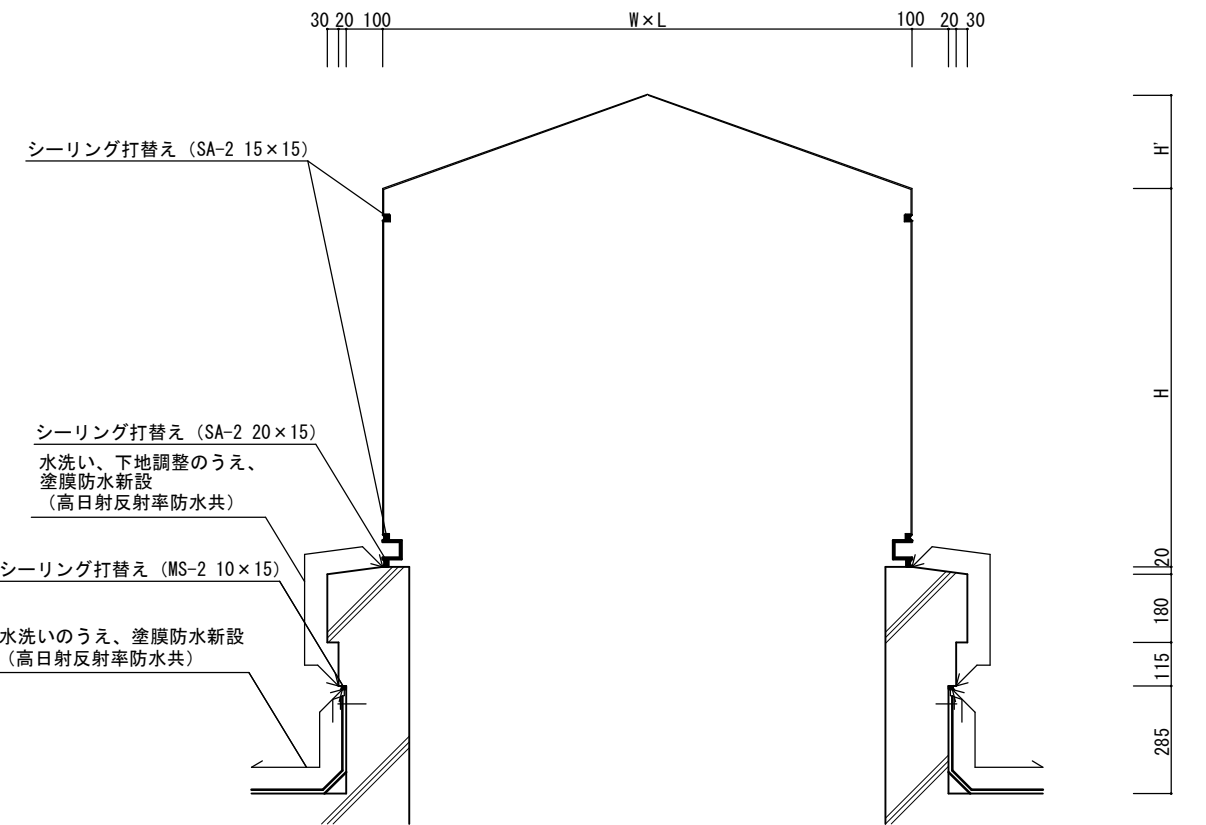


<改修後>

ハト小屋（B、C）詳細図（改修前後）（A1:S=1/10 A3:S=1/20）

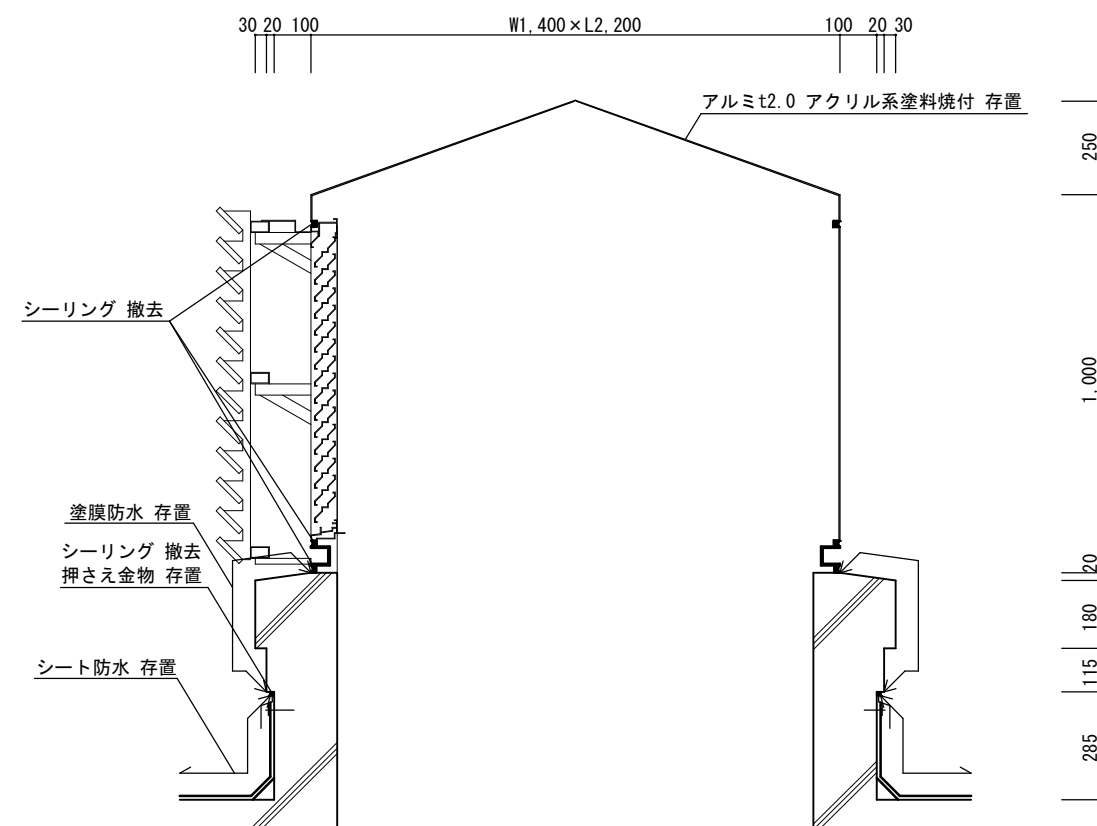


<改修前>

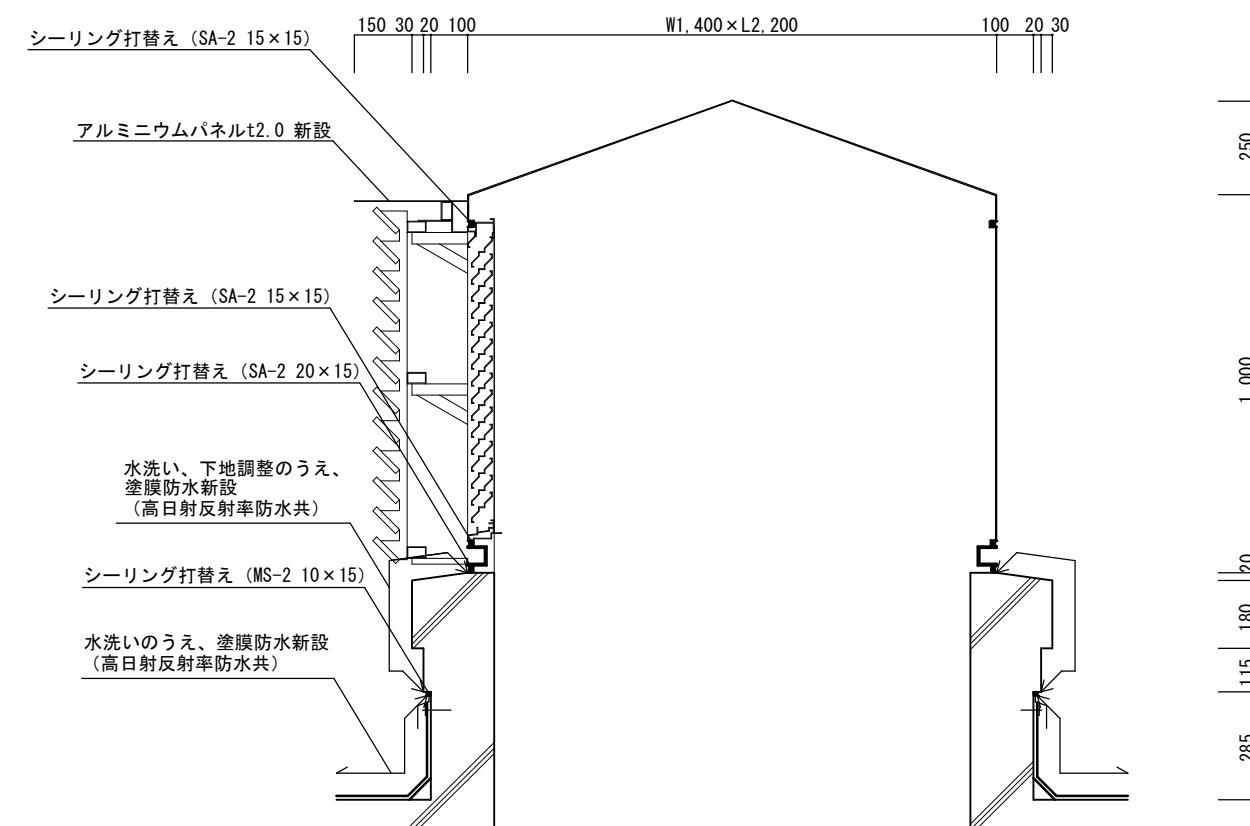
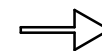


<改修後>

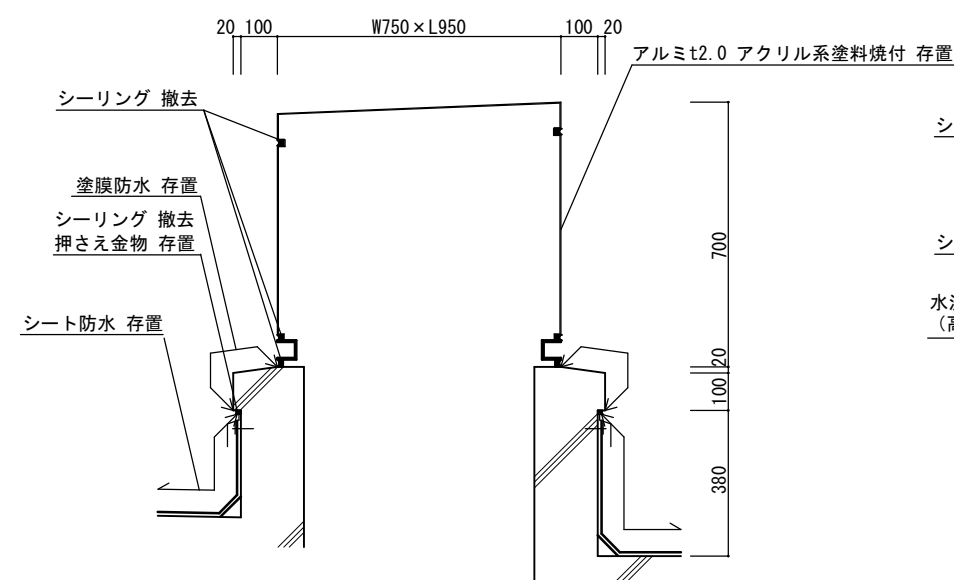
B	W1,100×L6,600×H1,000×H'250	C	W940×L2,200×H1,000×H'250
---	----------------------------	---	--------------------------



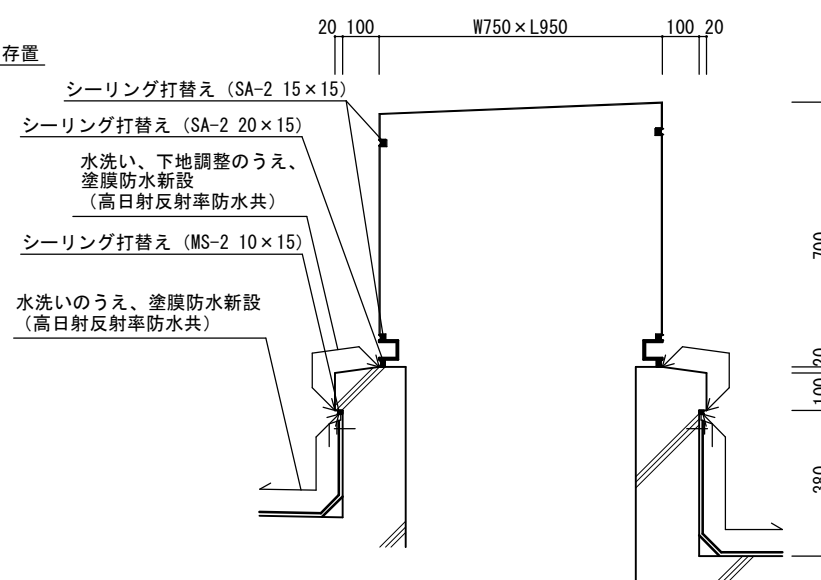
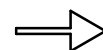
＜改修前＞



＜改修後＞



＜改修前＞



＜改修後＞

工事名 京都大学（南部）薬学研究科総合研究棟屋上防水等改修工事			図面番号 10
図面名称 部分詳細図（３）	縮尺 図示	設計日 令和８年８月	